



☆ 春が来た！

桜前線も北上し、水戸では、桜の花は散り始めてしまいましたが、まだまだこれから、いろんな花が咲き乱れる季節がやってきました。そこで、名残りの桜を惜しんで、桜の花もきれいな本と、のんびりした春を楽しむ本を集めてみました。絵本の中も、春、真っ盛りですよ。



春、本番



絵本・たろうのひっこし

村山桂子作、堀内誠一絵。

福音館書店(こどものとも絵本)

ある日、たろうが、自分の部屋が欲しいと言うと、お母さんは、古い絨毯を持ってきて、“この絨毯を広げたところが、たろうのお部屋よ。”と言います。そこで、たろうが階段の下に絨毯を広げると、ネコのみーやがやって来て……。

1枚の絨毯から発想を広げていった、ごっこ遊びの絵本。最後は桜の下でのパーティーになりますよ。

絵本・うさぎのくれたバレエシューズ

安房直子文、南塚直子絵、小峰書店

バレエ教室に通い始めて5年も経つのに、上手に踊れない女の子の、たった一つの願いは、「おどりがじょうずになりますように」。すると、ある朝、女の子の元へ不思議な小包が届き、それをそっと開いてみると……。

やさしい色彩の絵で、夢のような世界を描いた絵本。願いはきっと叶いますよ。

絵本・おひさま ぽかぽか

笠野裕一作、福音館書店(幼児絵本シリーズ)

お日様がぽかぽかと暖かい日、おばあちゃんは縁側で布団を干します。そこへ、ネコがやって来て、大きな欠伸を一つすると、ゴロン。昼寝をはじめます。それを見ていたおばあちゃんも、ゴロン。そこへ、次々と動物たちがやって来て……。

ふかふかのお布団で、気持ちのいい昼寝。見ているだけで、一緒に寝たくなりますよ。

絵本・ちいさいおうち

バージニア・リー・バートン文・絵、石井桃子訳。

岩波書店

ずっと田舎の静かな丘の上に、‘ちいさいおうち’が建っていました。‘ちいさいおうち’は、四季の移ろいを眺めながら、幸せに暮らしていましたが、やがて周りは大都会へと変わってゆき……。

静かな感動を呼ぶ、詩情豊かな作品。同じ作者の『せいめいのれきし』も、あわせてどうぞ。



絵本・庭をつくろう！

ゲルダ・ミュラー作、ふしみみさを訳、あすなろ書房

春、バンジャマンたちが引っ越してきた家には、大きな庭がありました。でも、ずっと空き家だったので、庭は荒れ放題で、まるでジャングルのように。そこで、みんなで庭づくりをはじめること！

精緻な絵で、小さな園芸家の1年を描いた絵本。ちょっとしたガーデニングや野遊びのヒントも出ていますよ。



☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

今回は
時間
場所

5月21日(土)、6月18日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや



☆ 雨の季節です。

今年は、例年よりも早く梅雨入りしたというのに、雨がなかなか降らず、水不足などと報じられています。降ったら、降ったで、すごい豪雨だったり、やはり異常気象なのでしょう。さて、今回は、梅雨のジメジメ感を少しでもスカッとさせてくれる本を集めてみました。気分転換に読んでみてください。



ジメジメ、でも…



絵本・アンガスとあひる

マージョリー・フラック作・絵、瀬田貞二訳。
福音館書店

アンガスは、何でも知りたがりのスコッチテリアの子犬です。今、一番知りたいのは、生垣の向こうから聞こえる、‘ガー、ガー、ゲーック、ガー！’という音の正体。ある日、開いていたドアから飛び出して……。

初めてアヒルを見たアンガスと、アヒルたちとの攻防が楽しい、アメリカの古典絵本です。

絵本・どろんごハリー

ジーン・ジョンズ、マーガレット・フロイ・クレアム絵、
渡辺茂男訳、福音館書店

ハリーは、黒いぶちのある白い犬です。ハリーは何でも好きだけど、お風呂だけは嫌い、ある日、湯船にお湯を入れる音を聞き、ブラシを隠して、外へ逃げ出しました。

表情豊かなハリーがかわいらしい絵本。線の太い、漫画風の絵で、ユーモアとスリルにあふれるお話を描き出しています。シリーズでどうぞ。

絵本・こぐまちゃんのどろあそび

わかやまけん作、こぐま社

こぐまちゃんは、お母さんに買ってもらったスコップで穴を掘ったり、お団子を作ったり。そこへ、しろくまちゃんがやって来て……。

子どもの遊びはどんどんエスカレートしていくもの。二人の穴も山も、どんどん大きくなっていきます。単純化された原色の絵と、繰り返しのあるリズムカルな文章の楽しい絵本です。

絵本・まって

アントワネット・ポーティス作、椎名かおる訳。
あすねろ書房

お母さんが、男の子を連れて、大急ぎで歩いていきます。でも、子どもの方は、気になるものを見つけては、“まって。”

いそがしい日常の、ありふれた親子のやり取りの中にも、大切な何かがある。子どもの“まって”の一言は、そんな大切な何かを教えているのかもしれない。



絵本・かようびのよる

テヴィッド・ウィーズナー作、当麻ゆか訳、徳間書店

ある火曜日の夜、睡蓮の葉の上で眠っていたカエルたちは、葉ごと浮き上がって、池から町まで飛んでいき……。

ある夜の不思議な出来事を、リアルな絵で描き出した絵本。まるで無声映画を見ている気分になりますよ。作者・ウィーズナーも登場しています。探してみてください。



☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいお話を聞きに来てください！

次回は
時間
場所

7月16日(土)・8月20日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや



みみずく通信

No.80
2016.7.16

発行：すばなしの会みみずく

HP :<http://subanashi.jimdo.com/>

☆ もうすぐ夏休み

まだ梅雨明けはしていませんが、暑い日が続いて、気分はもう夏！そして、もう何日もしないで、夏休みです。子どもたちは毎日遊びほうけたいのですが、そういきません。そこで、ちょっとだけ、夏休みのお役に立てそうな本を集めた見ました。親子で楽しめる本もありますので、この夏休み、半分遊び、半分勉強な気分を楽しんでみてください。



まずは、遊び！



絵本・なつはひるね 村上康成作. フレーベル館

誰もいない南国の海。犬と一緒に泳いだり、浜辺に寝そべって、雲の形を想像したり、スコールで逃げ惑ったり、……。

単純化された、コミカルな絵で、のんびりとした南の海の日を描いた、擬態語の絵本。見ていだけで、一緒に昼寝がしたくなりますよ。

絵本・木はいいなあ ジャニス・メイ・ユードリイ作. マーク・シーモント絵. さいおんじさちこ訳. 偕成社

木はいろいろな所に生えています。たくさんあれば生き生きとした森となり、一本だけでも風のありかかを教えてくれます。木で遊ぶこともできれば、いろんな役にも立ちます。

作者・ユードリイが幼い日に体験した思いを、おおらかな水彩で描いた絵本。子どもの目を通して見た木への讃歌です。

絵本・ぼくはブルドーザー！ 三浦太郎作. こぐま社

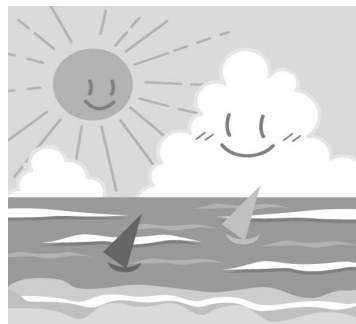
今日は砂場に“ぼく”一人。そこで、ここは工事現場！ 大きなお城を作ることに。まずは、砂をいっぱい集めます。“ぼくはブルドーザー！”

ごっこ遊びは楽しいもの。男の子は、大好きな働く車になりきって、夢中で遊びます。この“なりきって遊ぶ”ことが、子どもには大切なのもかもしれませんね。

絵本・11ぴきのねことあほうどり 馬場のぼる作. こぐま社

コロッケ屋を始めた11ぴきのねこたち。売れ残ったコロッケを食べるのに飽きて、鳥の丸焼きが食べたい、と考えるようになってきたところへ、1羽のあほうどりが出て来て……。

漫画風の絵が楽しい人気シリーズの一冊。大きなあほうどりを見て逃げ出すねこたちの表情もユーモラスですよ。



絵本・なきむしおぼけ なかのひろたか作・絵. 福音館書店

くんちゃんが、お兄ちゃんとおもちゃの取り合いをしていて泣きそうになっていると、誰かの“ないちゃえ ないちゃえ”という声が聞こえてきます。この変な声は、その後も聞こえてきて……。

少しずつ強くなっていく、子どもの心の成長を描いた絵本。誰の心にも“なきむしおぼけ”は住んでいるのかもしれないよ。



次回は 8月 20日 (土), 9月 17日 (土)
10月 15日 (土)
時間 午後 3:00 ~ 3:30
場所 西部図書館 お話し会のへや



☆ もう少しだけ…

読物・ものぐさトミー

ペン・デュボア文・絵、松岡享子訳、岩波書店

トミー・ナマケンボは、電気仕掛けの家に住んでいます。朝、ベッドから出ることから始まって、着替えや食事も機械まかせ。ところが、ある嵐の夜、トミーの家に電気がこなくなり……。

機械まかせのトミーの生活は、今の私たちの生活を見ているよう。気を付けないとトミーのようになってしまいますよ。



いろいろ観察



☆ 科学絵本も少しだけ

科学絵本・やさいのおなか

きうちかつ作、福音館書店

「これ なあに」の言葉と一緒に、なんだか不思議なシルエット。ページをめくると、ネギ、レンコン、ピーマン……、と見慣れた野菜の姿が。このシルエット、実は野菜の断面なんです。いつもの野菜も、断面をじっくり見ると美しいもの。その自然の造形美にびっくりしますよ。

科学絵本・夜空をみあげよう

松村由利子文、ジョン・シェリー絵、福音館書店

ある日の夕方、はるかには一番星を見つけます。その日から夜空を見続けていたはるかには、いろいろなことに気が付きます。星には色があること、双眼鏡で細い三日月を見ると、丸い月がぼおっと見えること。

低倍率の双眼鏡だけでできる、夜空観察の入門書。たまには親子で空を見上げるのもいいものですよ。



科学絵本・よるになると

松岡達英作、福音館書店

生き物には、安全にえさを捕るために、昼に動き回るものと、夜に動き回るものがあります。この絵本は、そんな生き物たちの様子を、私たちの身近な場所から順番に、昼と夜を対比させながら紹介しています。細密に描かれた絵は、見たことのない夜の世界を、臨場感たっぷりに描いていますよ。

科学読物・ひとしずくの水

ウォルター・ウィック作、林田康一訳、あすなろ書房

パシヤットとはねる一滴の水。その一滴の水から始まって、水の特性、目に見えないミクロの世界の水、雲や雪を作る水などについて、美しい写真と、分かりやすい文章で解説した知識読物です。一滴の水の終わりのない旅から、身近にある自然の面白さ、大切さを教えてください。



☆ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来て下さい。

次回は **8月 20日 (土)、9月 17日 (土)、**
10月 15日 (土)
時間 **午後 3:00 ~ 3:30**
場所 **西部図書館 お話し会のへや**





☆ やっと、秋

今年は、なかなか暑さが去らないと思っていたら、急に寒くなりましたね。やっと秋らしい気分になってきました。そこで、今回は、お話の中でも秋を満喫していただける本を集めてみました。読物の本や科学絵本も一緒にご紹介していますので、本を小脇に、親子でお散歩を楽しんでみてはいかがでしょうか。



秋が来た！



絵本・せんろはつづく

竹下文子文、鈴木まもる絵、金の星社

子どもたちが、野原の真ん中を通って、どんどん線路をつないでいきます。山があったら、どうする？ 川があったら？

子どもたちにとって、線路をつないでいくのは、夢の膨らむ楽しい遊びです。かわいらしい絵と、リズムカルな文章で、子どものこの楽しい遊びを広げてくれる絵本です。

絵本・わにわにのごちそう

小風さち文、山口マオ絵、福音館書店

ワニのわにわには、おなかぺこぺこです。冷蔵庫を開けてみると、そこには美味しそうなお肉が。そこで、早速、そのお肉をお料理することになります。

力強い墨の線で描かれた木版画が、お話の雰囲気ピッタリな絵本。子どものようなわにわにだって、お料理くらいできるんですよ。シリーズどうぞ。

絵本・どうぞのいす

香山美子作、柿本幸造絵、ひさかたチャイルド

うさぎさんは、小さな椅子を一つ作って、野原の大きな木の下に置きます。そばには、“どうぞのいす”と書いた立札。そこへ、ろばさんがやって来て……。

思いやりあふれるお話の絵本。やさしい言葉で綴られた文章に、ほのぼのとした絵が暖かみを添えています。

読物・おおきな おおきな おいも

赤羽末吉作・絵、福音館書店

楽しみにしていた芋ほり遠足が、雨で延期に。がっかりした子どもたちは、まだ見ぬ大きなお芋の絵を描くことにします。紙をどんどん継ぎ足して、絵の具を塗って、出来上がった特大のお芋。想像は限りなく広がっていきます。

ストーリーに合わせた、躍動感のある絵がすてきな絵本です。



科学絵本・どんぐりころころ

片野隆司写真、大久保茂徳監修、ひさかたチャイルド

秋、公園や雑木林を歩いていると、ほら。“どんぐり みーつけた！”

でも、このどんぐり、どこから来たの？ どんぐりって、いろんな大きさや形があるよ？

この絵本は、美しい写真と、幼い子にも分かりやすい簡易な文章で、どんぐりについて解説してくれます。本を持って、お散歩してみてもいい？



☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

11月19日(土)、12月17日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや





☆ Merry Christmas & A Happy New Year

今年も、あと少しになってきました。街中、クリスマスに、お正月にとにぎわいを見せています。それに花を添えるように、イルミネーションが輝き、嫌でも、ワクワクした気持ちになってきますね。そこで、今年最後の通信も、クリスマスと来年の干支・酉の絵本を集めてみました。親子で楽しく、一人で静かに、絵本を楽しんでみてください。



メリー・クリスマス!!



絵本・さんかくサンタ

tupera tupera(ツペラツペラ)作. 絵本館

‘さんさんさんかく さんかくサンタ’
‘まんまるふくろを せなかにしよって’
‘しかくいおうちに はいっていった’

△、○、□だけで作られた絵本。リズムカルな文章は、勝手に節がついて歌いだしてしまいそうです。親子で楽しめる、楽しい絵本ですよ。幼い子からどうぞ。

絵本・どうぶつたちのクリスマスツリー

ジャン・ウォール作. レナード・ワイスガード絵.
小宮由訳. 好学社

静かな森の奥で、クリスマスが始まろうとしています。ゾウが大きなモミの木を運んでくると、他の動物たちが飾り付けます。そして、夜空にひときわ輝く星が現れて……。

どんな動物同士も仲良くなれる、静かで、特別な夜のお話を、美しい絵で綴った絵本。静かに味わいたくなります。

絵本・2ひきのわるいねずみの

おはなし

ピアトリクス・ポター作. 石井桃子訳.
福音館書店

赤いレンガに白い窓の、きれいな人形の家に入り込んだネズミの夫婦は、ごちそうが偽物だったことに腹を立て、家じゅうを荒らしますが……。

おなじみ、ピーターラビット・シリーズの一冊。細部まで描かれた美しい絵で、ネズミたちのお話を綴っています。

さて、このネズミたち、本当に悪いネズミだったのでしょうか？

絵本・クリスマスのちいさなおくりもの

アリスン・アトリー作. 上條由美子訳.
山内ふじ江絵. 福音館書店

今日はクリスマスイブだというのに、クリスマスの飾り付けが何もできていません。お母さんが病気だからです。そこで、この家のネコとネズミたちは、ケーキを焼いたり、モミの木を飾ったり、クリスマスの準備をすることに。

淡い色彩の絵で、心温まるお話をやさしく語ってくれる絵本です。



読物・ちいさな曲芸師バーナビー

～フランスに伝わるおはなし～

バーバラ・クーニー再話・絵. 末盛千枝子訳.
現代企画室

ずっと昔、バーナビーという少年がいました。バーナビーの知っていることは、お父さんから教わった曲芸だけ。ある冬、修道院に引き取られたバーナビーは、自分もマリア様に贈り物をしたいと思いつちますが……。

何百年も語り継がれてきたお話を、美しい絵で描いた絵本です。



次回は
時間
場所

2017年 1月 21日(土)、2月 18日(土)
午後 3:00 ~ 3:30
西部図書館 お話会のへや



2017年は、酉年



絵本・ **ひよこのかずは かぞえるな**
 イングリとエドガー・パーリン・ドーレア作、
 瀬田貞二訳、福音館書店

メンドリが産んだ卵を、町まで売りに出かけたお婆さんは、道すがら、“卵はいくらになるだろう？”と考えはじめます。そのお金で何を买おうか考えたお婆さんの夢は、どんどん大きくなっていき……。

精緻な石版画で描かれた、ユーモア溢れる絵本。あまり欲張らない方が、いいかもしれませんよ。

絵本・ **ロージーのおさんぽ**
 パット・ハッチンス作、渡邊茂男訳、偕成社

メンドリのロージーがお散歩に出かけます。その後ろをキツネがつけていきますが、ロージーは気づきません。さて、ロージーは無事、小屋に帰りつけるでしょうか。それとも、キツネに捕まってしまうのでしょうか。絵が語りかけてくる、楽しい絵本です。

絵本・ **おしゃべりなたまごやき**
 寺村輝夫作、長新太画、福音館書店

ある日、王様は散歩の途中で、ニワトリが小屋にぎゅう詰めになっているのを見つけます。これでは遊べないだろうと、戸を開けてやると、ニワトリは逃げ出してしまいます。そこで、犯人探しが始まりますが……。

軽いタッチの明るい絵本。子どものように無邪気な王様の楽しいお話です。

絵本・ **チャンティクリアときつね**
 ジェフリー・チョーサー原作、
 バーバラ・クーニー文・絵、平野敬一訳、ほるぷ出版

昔、ある森の近くの、小さな一軒家の庭に、チャンティクリアという名の、素晴らしいオンドリがいました。ある日、チャンティクリアは、森の悪賢いキツネに連れ去られそうになり……。

中世イギリスの『カンタベリー物語』をもとに作られた絵本。美しい絵が、原作の雰囲気を生き生きと伝えます。



絵本・ **どんぶら どんぶら 七福神**
 みきつきみ文、柳原良平画、こくま社

どんぶら、どんぶら波分けて、やって来たのは宝船。そこに乗るのは七人の福の神様、七福神。

語呂のいい、リズムカルな文章による数え歌の絵本。それぞれの特徴が一目でわかる神様の顔は、福々しくて、にこやかで、こちらまで笑顔になるよう。お正月に読みたくなる絵本です。



★ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来て下さい。



次回は
 時間
 場所

2017年 1月 21日(土)、 2月 18日(土)
 午後 3:00 ~ 3:30
 西部図書館 お話し会のへや

最後になりましたが、来年も、すばなしの会みみずくは、楽しいおはなしや絵本を、たくさん、みなさんにお届けしたいと思っています。また、来年も、どうぞよろしくお願ひします。



☆ 春は名のみ...

立春が過ぎ、名前だけは春になりましたが、まだまだ雪の便りがたくさん届いていますね。今年、水戸でも雪が積りました。そこで、今回は、雪の絵本と、ちょっとだけ2月っぽい絵本を集めてみました。今年も、楽しい絵本を一緒に楽しみましょう。



雪・ゆき・ユキ



絵本・ゆきのひ

エズラ・ジャック・キーツ文・絵、木島始訳、偕成社

冬のある朝、ピーターが目を覚ますと、外は一面の銀世界。そこで、ピーターは早速外に飛び出して、雪に足跡を付けたら、木に積もった雪を落としたり、……。

簡潔な文章と、美しい色彩のコラージュで、子どもの心を通して見た雪の日の一日を、画面いっぱい描いた絵本です。

絵本・ゆき ゆき ゆき

たむらしげる作、福音館書店

冬の空、冷たい雲の中で雪の赤ちゃんが産まれます。それは、だんだん大きくなって結晶になり、ぶつかったり、くっついたりしながら降ってきます。

掌に受けると、すぐに消えてしまう雪の物語。一つ一つの結晶も美しく描かれた絵本。大きく育った結晶は、肉眼でも見るができますよ。

絵本・はたらきものの

じゃせつしゃけいていー

バージニア・リー・バートン文・絵、石井桃子やく、福音館書店

‘けいていー’は、赤い立派なトラクターです。部分品を付けると、ブルドーザーにも、除雪機にもなります。ある冬の日、大雪が降って、町がすっかり雪に覆われると、‘けいていー’の出番です。

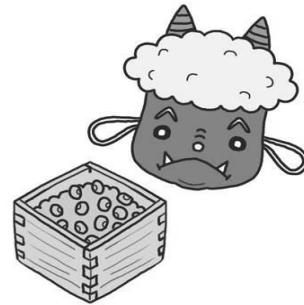
細部まで描きこまれた絵は、躍動感にあふれ、子どもの心を引きつけます。じっくり楽しみたい絵本です。

絵本・こねこのチョコレート

B・K・ウィルソン作、小林いつみ訳、大杜玲子絵、こぐま社

明日は弟の誕生日。お母さんとプレゼントを買いに行ったジェニーは、‘こねこのチョコレート’を選びます。ところが、その晩、美味しそうなチョコレートのことが気になって眠れなくなったジェニーは、そっとベッドを抜け出して……。

子どもの共感を呼ぶお話と、かわいらしい絵の絵本。心温まる結末が待っていますよ。



絵本・じごくのそうべえ

～桂米朝・上方落語・地獄八景より～
田島征彦作、童心社

綱渡りの曲芸の最中に綱から落ちて、死んでしまった軽業師のそうべえは、山伏のふっかい、歯抜き師のしかい、医者のおちくあんとともに地獄へ。ところが、着いた地獄で、四人は大暴れをしだして……。

リズムカルで、ユーモアあふれる話は、スケールが大きく、あっという間に終わってしまう楽しさです。



☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

今回は
時間
場所

3月18日(土)、4月15日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや

